

令和8年度 第2回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

令和8年8月27日（木）18:30～20:25

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者	5名…笥、高澤、原田、山岸、龍崎
欠席者	4名…加藤、清水、丸岡、荒井
事務局	2名…地域コミュニティ支援課 堀井、加藤
指定管理者	2名…NPO 法人 YMCA コミュニティサポート 茂澤、沼崎
傍聴者	0名

配布資料	1 利用状況、利用者の声
	2 夏のボランティア・市民活動体験 2026 中間報告
	3 のたろんフェア 2027 実行委員会名簿（当日配布）
	4 新規登録団体・変更団体
	5 市民公益活動団体継続活動者表彰について（非公開）

開 会

議題「（2）市民公益活動継続活動者表彰について」は、非公開情報を含むほか、審議会意思決定の中立性及び公正な審議を確保するため、情報公開条例の規定に基づき非公開とすることについて、出席した全構成員の承認を得て決定。

1 報告事項

1-（1）利用状況、利用者の声について

指定管理者及び地域コミュニティ支援課から、資料1に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・令和8年4月から7月までの活動団体利用者数は、8,458人で前年度比96.6%、利用団体数は、2,363団体で前年度比102.7%の利用状況であった。
- ・時間別は10時前後、14時前後、18時前後の3つのピークがある。
- ・曜日別は土曜日、水曜日、木曜日の順で多くなっている。来年度から時間が短縮される日曜日の18時以降は利用が少ない。次年度からの時間変更に対し、順当な利用状況である。
- ・5ページ下の1日平均時間別利用者数は365日で割っている所以このような数字になる
- ・7ページの分野別利用団体数と利用者数は毎回同様、文化・芸術・スポーツの分野が多い。
- ・利用実績は、統計の取り方が変わったことにもない、「活動団体利用者数」と「一般利用者数」を併せている。前年度と統計のとりかたが変更したため、前年度比は84.4%となっている。
- ・コピー機利用実績については、1人の方が多く利用するといった状況が多い。
- ・利用者の声（アンケート）では、情報誌のたろん春号で、あえて「非常識なサポセンの使い方」というタイトルで作成した際に、4月に情報紙のタイトルとして相応しくないという意見をいただいたが、5月には普段あまり見ないがタイトルに惹かれはじめて中まで見たという意見をいただいた。様々な意見がある中でも、今後も丁寧さを大切にしながらのたろん通信の作成をしていきたい。

- ・新札が出回りしばらく経つのに、コインベンダーの対応はいつになるのかといったお声をいただいた。旧紙幣との交換を受付で対応するので、お声かけくださいと回答した。
- ・今年度から始めたのたろんカフェについて、ラテアートができないか、という提案のようなご意見をいただいた。パッケージデザインがラテアートを連想させるものとなっている。日常的にラテアートの提供は厳しい旨、回答した。
- ・次年度からの開館時間の変更についても意見があった。8月から周知を始めているため、反響があったものと捉えている。

(地域コミュニティ支援課：久里浜について)

- ・(資料の訂正) 利用者数は5月80人、6月65人、7月83人が正しい。
- ・4月以降は前年度比が増えている状況である。
- ・ワーキングコーナーの方が利用率が高い。
- ・利用人数が増えているのに利用団体が減っているのは、1団体が多い人数であったという状況である。
- ・コピー機・印刷機の利用実態としては、前年度はコピー機が多かった。コピー機は連続ページものが複製できる、印刷機は1枚ものなので、その利便性、使い勝手の部分かと分析している。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・統計のとりかたを昨年度から変更しているのので、前年度との比較はあまり気にしなくて良いが、曜日別などの統計のとりかたは工夫を考えても良いかと思う。
- ・時間別曜日別は365日で割っているが、開館日の日数で割る方がより正確な数値になる。

1ー(2)夏のボランティア・市民活動体験 2026 中間報告について

指定管理者から、資料2に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・期間は、7月18日から9月13日まで。
- ・参加団体は41(前年度46)、イベント数は45(前年度44)、いずれも前年度と近い数である。
- ・6月27日に参加団体説明会を行った。台風が接近する荒天のなかにもかかわらず、21団体、19名が出席した。
- ・緑ヶ丘高校の福祉委員会のメンバーに冊子を配架していただいた。
- ・横須賀学院小学校ではダイジェスト版を全校生徒に配布していただいた。
- ・MYサポ(登録者数は68人)、市の公式LINEでも広報を行った。
- ・県立保健福祉大学のボランティア・市民活動論の履修生143人へも、イベント情報冊子を配布した。
- ・このあと9月13日までイベントは継続し、9月25日に参加団体報告会、9月20日以降に報告展示を行う予定。その際には学生の参加人数なども報告していただく予定。

(懇話会構成員からの質問・意見)

意見等なし

1ー(3)のたろんフェア 2027について

指定管理者から、資料3に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・昨日、第一回実行委員会が開催され、13名に集まっていた。実行委員会が平日夜のため、参加が難しいという方がいた。
- ・14年ぶりに実行委員会に参加してくださった方がいた。実行委員長・副実行委員長が決定。
- ・ポスターデザインの一般公募について協議。今年度は市の掲示板への掲示が難しいため、その点を踏まえポスターデザインをしていただく方のメリットは何なのか、という点で議論があった。昨年度のポスター応募は11件で、近年応募数が増えている状況であるので、今回も公募することになった。
- ・実行委員の名簿については、資料のとおりである。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・今回市の掲示板でポスター掲載が難しいとされた理由は何か。
- ⇒掲示スペースの問題もあり、各月ごとに掲載できるポスター数が決まっている（各月5枚程度まで）。1月は市において周知したいイベントが多く、今回は掲載が難しかった。
- ・広報掲示板での掲載可否の理由は、どこかで市民にも伝えてほしい。近所の掲示板を見てもスカスカでスペースがあるように感じる。
- ⇒市民団体の力をお借りして、口コミや、人伝い、知り合いの店舗に貼っていただくなど、ご協力いただけるとありがたい。市としても、できる限りのことはやっていく。
- ・ポスターは前回、とても繊細なタッチで柔らかさ、かわいらしさを感じたが、遠くから見た場合に、分かりにくかったり、アイキャッチになるものがないように感じた。ポスターはイベント周知の役割があるので、作成者の思いも汲み取りながら監修してくれる人がいると良い。

2 議題

2ー(1) データベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から資料4に沿って説明した。

(指定管理者)

- ・5～7月の登録団体の状況は、新規登録が7団体、ほぼ全ての団体がずっと活動をされてきた団体。パステルは一度削除したが、また新規登録した。手仕事の会は「My little hands」という団体が規模を小さくして再登録。

(懇話会構成員からの質問・意見)

意見等なし

3 その他

特になし

連絡事項

(地域コミュニティ支援課)

- ・第3回運営懇話会は、11月26日(木)18:30からサポートセンターにて開催予定。

以上